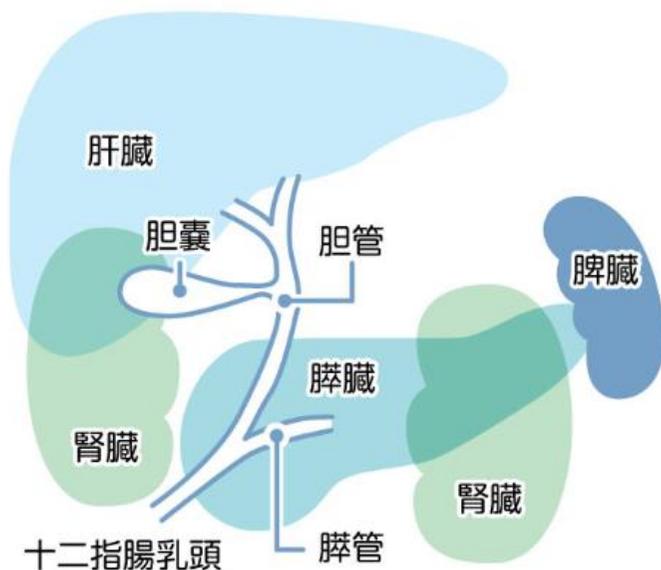


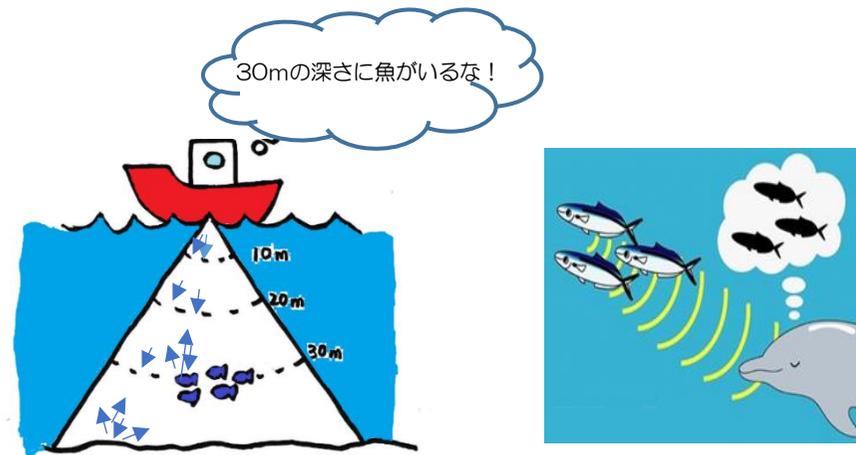
腹部超音波検査(腹部エコー)



超音波(エコー)とは?

超音波とは人の耳には聞こえない高い周波数の音のことをいいます。超音波検査の仕組みは、超音波を海中に向かって発射し、魚がどれくらいの深さにいるかを調べる漁船の魚群探知機やイルカのエコーロケーションと同じようなものです。

検査に用いる超音波の周波数は2~20MHz(メガヘルツ)程度で、人の体に害をもたらさない安全なものです。



腹部超音波検査(腹部エコー)とは?

みぞおちから左右のわき腹のあたり、または下腹部にあてた小さな機械(プローブ)から超音波を出し、お腹のなかの臓器にあたってはね返ってきた超音波を受信し、それを画像にすることでお腹の中の臓器の様子を知ることができます。肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を中心に、可能であれば、腹部大動脈、膀胱、男性であれば前立腺、女性であれば子宮、卵巣、などに異常が無いかを調べます。



肝臓の超音波画像

検査の様子

ベッドに上向きに寝ていただきます。腹部に検査用のゼリーを塗り、モニターを見ながらプローブをお腹にあて、お腹の中の臓器を観察します。左側を下にしたり、右側を下にしたり、座ったりして観察することもあります。



腹部超音波検査（腹部エコー）でわかること

のう胞、ポリープ、結石、腫瘍などの限局性病変、脂肪肝、慢性肝炎、慢性膵炎などのびまん性疾患、各臓器の形態などを観察する検査です。症状がなくても病気が進んでいることがあります。定期的に受けることで、病気の早期発見が出来ることがあります。

肝臓：脂肪肝、慢性肝炎、肝硬変、肝のう胞、肝臓がんなど

胆嚢：胆石、胆のうポリープ、胆のうがんなど

腎臓：腎結石、水腎症、腎臓がんなど

膵臓：慢性膵炎、膵癌など

腹部大動脈：腹部大動脈瘤など

膀胱：膀胱腫瘍など

前立腺：前立腺腫大など

子宮：子宮筋腫、子宮がんなど



胆石の超音波画像

絶食にするのはなぜ？

胃の中に食物が入ることで胃の背側にある膵臓が見えにくくなったり、胆嚢の中にある消化液である胆汁が分泌されるため、胆嚢は小さくなってしまい胆嚢内部にポリープや胆石があっても超音波ではわかりにくくなります。また腸の動きも活発になりガスが多くなります。超音波は腸管ガスのような気体は伝わりにくく、観察したい臓器が見つらなくなってしまいます。

おしっこを貯めるのはなぜ？

膀胱に尿を貯めることで膀胱内部の観察が可能になります。また、近くにある子宮、卵巣、前立腺、直腸などが見えやすくなるからです。

腹部のその他の検査

○腹部レントゲン：消化管ガスの状態はどうか

○OCT：嚢胞や腫瘍はないか、胆嚢炎はないか

○OMR I：嚢胞や腫瘍はないか、胆管や膵管につまりはないかなど…



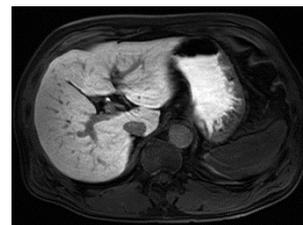
レントゲン



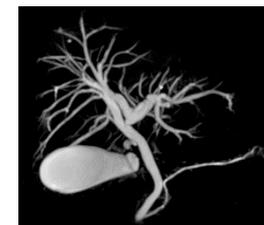
単純CT



造影CT



MRI



MRCP